

「平成28年度第1回習志野市社会教育委員会議」会議録

1 日 時:平成28年7月7日(木) 午後3時から5時15分まで

2 開催場所:習志野市消防庁舎4階会議室

3 出席者氏名

出席委員: 高見 俊雄委員、田尻 正代委員、合志 久恵委員、山本 文男委員、
中野 和寿子委員、佐賀 正栄委員、武田 光広委員、竹内 比呂也委員

欠席委員: 榎 英子委員

出席職員: 植松教育長、井澤生涯学習部長、斉藤生涯学習部次長、
佐々木社会教育課長、佐久間青少年課長、柴野生涯スポーツ課長、
浦野青少年センター所長、関菊田公民館長、寄主市民会館長、
岡野大久保図書館長、中村生涯学習部主幹(社会教育課)、
妹川生涯学習部主幹(菊田公民館)、早川生涯学習部主幹(資産管理課)
社会教育課(忍係長、望月主任主事、池田主事)、大久保図書館(肥留間主査)

傍聴者: 0人

4 会議内容

委嘱状交付(進行:生涯学習部次長)

～開会～

1 教育長挨拶

2 委員自己紹介

3 職員紹介

4 社会教育委員の職務について

5 委員長・副委員長選出

委員の互選により、委員長に中野 和寿子委員、副委員長に山本 文男委員を選出。

6 委員長・副委員長挨拶

7 議事録署名人選出

委員長より高見 俊雄委員と田尻 正代委員を指名。

～議事～

8 報告事項(進行:中野委員長)

(1)平成28年習志野市議会第2回定例会一般質問について

佐々木社会教育課長より資料のとおり説明

【質疑】

合志委員

放課後児童会の民間委託については、担い手不足を民間に委託することで改善ができると考えているのであろうが、改善をするにあたり、習志野市が直接雇用するよりは、民間が間に入ることで雇用の条件が悪くなるのではないか、何故民間に委託することでその確保ができると考えているの

か。また、もし本当に確保ができるのであれば、これを継承することで、今後も放課後児童会を市で行っていくにあたり、やはり人材を確保することが難しいと想像ができるが、そのときにも役にたつのではないかと考えられる。そのあたりのことをお聞きしたい。

佐久間青少年課長

放課後児童会の運営については、平成27年度4月から法改正により支援員の資格要件が明確化されたことで、教員、保育士といった有資格者ということで位置付けられるようになった。そのため、資格者を確保することが難しい。策として、平成28年度から時給単価をアップしたが、見込んだ数を確保できていないのが現状である。

近隣市の状況を見ると、指定管理者や運営委託といった民間活力を導入している。民間事業者は人材ネットワークを広く持っており、確保がかなり期待できるということがある。賃金、経費という面については、放課後児童会という性質上、質を下げることはできないので、導入するというのであれば、プロポーザル方式、提案方式で業者を選定したいと考えている。プロポーザル方式では金額を踏まえ、業務取組姿勢等、総合的に評価をする。また、事業者が雇用する職員の賃金は、本市の賃金を基準に考えるものと想定している。

子供教室については、まだ運営をしていない状況の中で、コーディネーターを資格要件のある方であるとか、法律上の資格の縛りはないものの、コーディネーターができる人をと考えると人材の確保が難しくなってくるので、引き続き研究していきたい。

(2)各種審議会等委員の名簿について

佐々木社会教育課長より資料のとおり説明

【質疑】

特になし。

(3)大久保地区公共施設再生事業の進捗状況について

早川生涯学習部主幹(資産管理課)より資料のとおり説明

【質疑】

田尻委員

勤労会館については、今までどおり在住・在勤の利用ということか。

早川生涯学習部主幹(資産管理課)

今後は広く市民が利用でき、市外も含めて広い範囲の方に利用いただこうと考えている。

また、現在勤労者は無料ということであるが、受益者負担の観点から、適正な維持管理費については広く負担をしていただきたいと考えている。

武田委員

エリア全体ですばらしい構想だと思うのだが、エリアの交通の整備であるとか、そういった計画はあるのか。例えばホールでイベントがあった場合、駅前の方へ人がドッと歩いていて、車が通りづらいといった状況がある。こういったいいものがあった場合、それだけ人の流れが多くなると見込まれてくるので、今後検討していく余地があるのであれば。

早川生涯学習部主幹(資産管理課)

現在は駅前に交通が集中して、車と歩行者が重なるということが課題かと思う。駅前からの通りは基本的に一般車の通行は無しということで、違うところに集約をし、歩行者と重ならないように導線の安全性は確保する予定である。

駐車場については現在100台程収容できるが、今後は150台収容可能とし、車が道にあふれないような計画をしている。

また、駅の問題は課題として受けとめ、今後庁内の調整や京成等との協議をしていかなければならないと考えている。なお、京成とは定期的に集まる会合があるので、そこではこういった事業計画があるということを伝えている。

山本委員

駐車場は有料となるのか、無料となるのか？

早川生涯学習部主幹(資産管理課)

現在は無料だが、今後は有料化をしたいと考えている。例えば、1時間までは無料でお使いいただき、それ以上については広く御負担いただくという考え方。

山本委員

1時間で終わるような集まりというのはない。だいたい2時間3時間、あるいは半日、1日とかかる。有料になると、市民の負担が大きくなるという可能性がある。

早川生涯学習部主幹(資産管理課)

1時間という時間については、他市において、図書館での本の貸し借りをするにもお金をとられると問題になったことがある。よって、図書館で本を貸し借りする時間については無料でお使いいただき、それ以上は広く御負担いただくという考えである。

山本委員

例えばサークルがイベントを行って、市長を招待したとする。そうなると一般の方々は当然1時間以上の利用になるので有料になるが、市長や来賓の方々は有料になるのか？それとも来賓の方はいないという差別をするのか。そういったところは我々としては関心がある。御招待の案内をする際に「駐車場はないので公共交通機関を利用してください」という一文を書いているが、呼んでおいて駐車場がないから電車で来いというのは、情けない御案内だと思う。そういったところはどうか

ているのか。

早川生涯学習部主幹(資産管理課)

御意見として受けとめる。今後は事業者が決定したあとに色々と話し合いをしていかなければならないので、駐車場のお金の取り方であるとか、その中で御意見として受けとめさせていただきたい。御指摘いただいた点については、しっかりと対応していきたい。

合志委員

定期借地権の話があったかと思うが、若者に長く住んでもらう、永住してもらおうといったようなものをつくってもらえればと思う。定期借地権をというとなんかマンションくらいしか浮かばないが、若者を惹きつけるものといったら他にどういったものがあるのか？

早川生涯学習部主幹(資産管理課)

定期借地権という最初は家だけだったので、家やマンションというイメージがあるが、その後制度が緩和され、今は事業系も可となった。例えばスーパーや家電量販店が一定期間の後撤退することがあるが、この定期借地権という制度を活用したものである。

活用については、民間業者から提案をもらうこととしており、ここで何をしたいかを提案していただき、市が選ぶというものである。事業として住居系は考えられるが、分譲マンションが建ってしまうと壁となり他の施設と連携が図れなくなるので、分譲マンションは不可としてある。賃貸であれば、大学生の寮や、シェアルーム等を想定している。そして例えばひとつの条件として、施設の活動に参加をするというような連携を図ることによって、住むだけではなくて地域のエリア一帯を盛り上げる。そういった仕掛け等を想定している。他には、児童施設、子どもの遊ぶ施設、カルチャーセンター、テナント、カフェ等が想定される。

北九州市の例では、市では今申し上げたようなものを想定していたが、蓋を開けて一番良かったものは事業者から提案のあった「地元大学のサテライトセンター」であり、市としてもそういったものが地域との連携が図れるということで、結果的に選ばれたのは、市が想定していなかった事業だけれども市にとって一番良かったものである。

田尻委員

駐輪場やバイクについてはどうなるのか？

早川生涯学習部主幹(資産管理課)

駐輪場については、現状の台数分確保に努めるようにしている。基本的に公園内につくってほしいと書いているが、どこに作るかは民間の事業の全体の工夫次第ということになる。

田尻委員

市民会館でイベントがあると、自転車が一杯になってしまっていて止められなくなっている。

早川生涯学習部主幹(資産管理課)

年間駐輪場は300台分止められるが100台程度しか登録がないので、止められるスペースはある。年間利用のために作った駐輪場だから止められないという問題が現状あると思うが、民間が一括して管理をしたときに、空いていれば利用者も使えるようにして台数があふれないようにするといった柔軟性はとってもらえると考えている。

佐賀委員

民間施設と公共施設のコラボではないけれども、隣接したかたちで考えようとのことかと思うが、やはり民間施設はサービス優先的な動きが多少あると思う。公民館だとある程度子どもたちを見守ってくれている印象があるので、親としては安心なところがある。隣接したかたちで導線が一緒になると、親としては、公営によるみまもりが安心できる。安全安心を大切にしてほしいと思うが、先ほどの大学のシェアハウス等は適しているのか？

早川生涯学習部主幹(資産管理課)

安全安心というのはひとつのコンセプトである。もともと老朽化した施設が、今回のような地震があると倒れるかもしれない、それが現実になってきた中で、ハード面、ソフト面の安全安心をしっかり確保する必要があると考えている。安全は数値で測れるが、安心は我々がより意識をしないと市民の方は安心感が得られないと思うので、常に意識をしながら、事業を進めていきたいと考えている。

(4)市立図書館の指定管理者の更新について

佐々木社会教育課長より資料のとおり説明

口頭にて、指定管理者制度を導入している生涯学習施設の現在の状況について、各所管課より報告。(生涯学習地区センターゆうゆう館、習志野文化ホール、スポーツ施設、新習志野公民館、図書館)

【質疑】

竹内委員

図書館の一般利用者からの評価はとっているのか？

岡野大久保図書館長

毎年利用者アンケートをとっている。アンケートでは、カウンター業務での対応や電話対応等の定期的な項目の他に、自由意見の欄を設けている。民間になってからカウンターでの対応が丁寧になった等の意見があった。我々としても、指定管理者制度を導入してから、カウンターでのトラブルや、そういったことに関する苦情がなくなったので、成果があったというように考えている。

9 その他

【総括質疑】

田尻委員より質問

旧習志野高校体育館がなくなってから、利用団体が袖ヶ浦体育館や東部体育館に分散をしており、それぞれの体育館の予約が取りづらくなっている状況である。市役所が新しくなるにあたり、新しい体育館ができる予定はあるのかということと、譲り合いながら小学校や中学校の体育館を利用しているが、今後どのような対応がされるのか？

柴野生涯スポーツ課長より回答

新庁舎建設に伴い新しい体育館ができる予定はなく、大久保地区の話でもあったが、今後も公共施設を維持していくためには財源がかかるため、総量のある程度圧縮していかなければ市の財源・財政上立ち行かなくなる。そのため、新しい体育施設、体育館を造っていくことは難しいと考える。

この先の需要をどう満たしていくかということについては、現行あるふたつの体育館を大事に使っていきたいと考えている。特に東部体育館については建築から22年を経過しており、そろそろ大規模改修の時期を迎える。定期的にしかりとしたメンテナンスを行うことで、本来建物が持っている寿命を全うさせる。あるいはさらに寿命を延長させるということで、定期的メンテナンスを行うことによって、今あるものを大事に使っていきたいというように考えている。

また、勤労会館の中にも、規模は小さいが体育館がある。先程質疑があったように、勤労者に優先された施設ではあるが、公共施設再生計画により新たにオープンしたあかつきには規制を緩和し、一般開放をし、少しずつでもニーズに応えていきたいと考えている。

【事務局より】

社会教育課(事務局)より、次回の会議日程について説明。

～閉会～

5 所管課名

教育委員会 生涯学習部 社会教育課

電話番号 047-453-9382

FAX 番号 047-453-9284